

■フルハーネスの装着方法（一例）

- ①肩ベルトを腕に通します。
- ④腿ベルトを締めて、身体にベルトをフィットさせます。



- ②胸バックルを連結し、胸ベルトの長さを調節します。

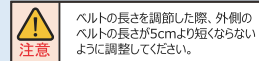


- ⑤最後に各ベルトにねじれや緩みがないか、また各連結部分は正しく確実に連結されているかを確認してください。

**注意（必ず確認）**

- ・装着は正しく行ってください。
- ・装着が完了したら、それぞれのベルトに**ねじれ**や**ゆるみ**部分がないか、それぞれの連結部分は**正しく確実に連結**されているかを確認してください。

- ③腿ベルトのワンタッチバックルを連結します。



**注意** ベルトの長さを調節した際、外側のベルトの長さが5cmより短くならないように調整してください。

■使用方法と使用上の注意

- ランヤードのフルハーネス側小フックをフルハーネスのD環に確実に取り付け、もう一端の大フックを堅固な構造物に掛けて使用する。
- ランヤードをフルハーネスのD環に取り付ける際は、フルハーネス装着前に取り付け。
- ランヤードをフルハーネスに取り付けた状態で、大フックを使用しない場合は、休止大フック掛けに掛けておく。
- ランヤードは脇に挟まないようにする。
- フックを掛ける位置は、D環より上のできるだけ高い位置で墜落制止時に床面や構造物等に激突する恐れのない箇所とする。
- ブロックリール等の墜落防止装置と併用する場合は、それらのフックをD環もしくは丸リングに直接掛けて作業及び移動を行う。
- ランヤードが振子になったり、すべりやすい所へはフックを掛けない。又、垂直・水平親綱の1スパンを利用する作業者は1名とする。
- フックは墜落制止時にフック本体がねじれて変形したり、安全装置外れ止め装置に荷重がかかったりしないように、正しい方法で構造物に掛ける



※墜落制止用器具の使用可能質量は、着用者の体重およびその装備品の質量の合計100kg以下とする。

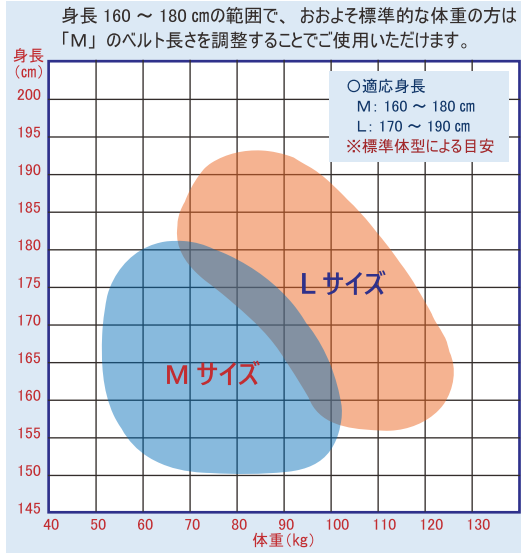
■保守と保管

- ベルト・ランヤードに塗料等がついた場合は、乾いた布でふき取り、溶剤は使用してはならない。
- 金属類の可動部は定期的な注油する。砂・土・水等が付着した場合は布等で拭き取り可動部に注油する。
- 製品保管場所について、風通しがよく、湿気の少ない所で保管する。
  - ・直射日光が当たらない所。・直射日光が当たらない所。
  - ・子供が遊びに使用したり、動物が製品に損傷を与えないよう注意。
  - ・新品のままでも使用せずに長期間保管する場合は、必ず箱又は袋などに入れた状態で、気をつけて保管する。



■主な仕様

肩・腿・胸・骨盤ベルト	幅 45 mm ポリエステル
胸・腿ワンタッチバックル	アルミ合金製
胸ベルトホルダーベルト	幅 45 mm ポリエステル
胸ベルトホルダー金属	アルミ合金製
D環	スチール製
休止大フック掛け	ナイロン樹脂
各調節バックル	ステンレス製
重量	約 1080 g
サイズ	M サイズ (160 ~ 180 cm)



■使用前点検

- 毎回使用前に必ず取扱説明書をよく読み、正しい使用方法を確認する。
- 毎回使用前に必ず、「点検・廃棄」の内容に従ってフルハーネス・ランヤードの各部点検を行う。
- 新しい製品を使用する前には、フルハーネスベルト裏の使用開始ラベルに、使用を開始した年月を必ず記入。

■交換時期と目安

- 使用条件にも異なるが、フルハーネスは使用より3年、ランヤードは2年を目安に新品と取り替える。
- 使用期間内であっても点検リストの内容に従って点検を必ず実施し、廃棄基準に達したものは使用しないで新品に取り替える。
- 使用開始ラベルに使用を開始した年月を必ず記入する。



フルハーネス Y型

胸掛けベルト腿ワンタッチバックル(アルミ合金製)

使用者の使いやすさと安全性を追求したハーネス!

HYF2-M-BL



Mサイズ

商品コード HYF2-M-BL

Japanese Quality by Tsubaki

EN361 : 2002 規格

「墜落制止用器具の規格」「フルボディハーネス」

適合品

適合品

使用可能質量 (体重+装備)

100 kg



取扱説明書

本製品を使用する前に必ず取扱説明書をご覧ください

■各パーツの正しい名称及び装着と調整

